

# Open Okinawa

沖縄 幕開け!展

2011年、前島アートセンター(MAC)が解散宣言をし沖縄のアートシーンが転換期を迎えている今これから私たちアーティストたちに何が必要か、何をすべきなのかを模索していくとともに、新たなアートシーンの幕開けを歓迎するセレモニーとして展覧会を開催。また本展示の会場は、今年から始動した「沖縄アートプロジェクト」の空き店舗再生事業により生まれたアトリエであり、そういった空間から現代アートと沖縄の地域的歴史的特異性との関わり方についても考えて生きます。

会期：11月26日(土)～12月04日(日) 11:00～21:00

会場：space tropical (沖縄市中央1-16-10 2F)

入場料：500円

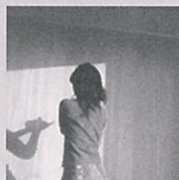
参加アーティスト：石川竜一、浦田健二、須藤系、平良亜弥、吉濱翔

## |アーティスト



### 石川竜一 Ishikawa Ryuichi

写真家、舞踏家、沖縄県宜野湾市在住。  
1984年12月8日 沖縄県宜野湾市生まれ  
2009年から前衛舞踏家しば正龍に師事。2010年からは  
写真家 勇崎哲史に師事  
" 写真展「脳みそポートレート」沖縄県民ギャラリー  
" 写真展「眼」カメラのモリヤマ ART ギャラリー  
" 写真集「SHIBA 踊る惑星」自費出版



### 平良亜弥 Taira Aya

1981年那覇市生まれ。  
琉球大学教育学部美術教育専攻卒業。  
身近に当たり前にある、普段気に留めることなく流れて行く  
景色や現象をレイヤーのように分離させることで新しい定点  
を加え、「ここ」「どこか」といった場面を起し上から定着  
作品を制作。  
blog <http://tairaraya.blogspot.com/>  
web album <http://picasaweb.google.com/tairaaya>



### 吉濱翔 Yoshihama Sho

1985年沖縄県生まれ。  
沖縄県立芸術大学美術工芸学部絵画専攻卒業。  
在学中より沖縄県内での即興演奏、実験音楽等の  
企画を多数開催するほか、音をモチーフにした  
ドローイングや写真作品サウンドパフォーマンス  
インスタレーション等を発表している。  
<http://yo4hama.ti-da.net/>



### 浦田健二 Urata Kenji

1984年うるま市生まれ  
2010年 沖縄県立芸術大学大学院  
造形芸術研究科 環境造形専攻 絵画専修 修了  
油彩・版画・CGなど平面を軸にしつつ、  
写真・映像や音楽など、様々なメディアを  
クロスオーバーさせた表現が特徴。  
主に人体にこだわったフェティッシュな作品を  
作り続けている。  
<http://www.kenjurate.com>



### 須藤系 Sudo Kei

埼玉県生まれ  
沖縄県立芸術大学大学院絵画専修修了  
「ありふれているもの、かすかな存在、  
気づくといつもそこにあるもの」をテーマに、  
匿名性・平面性・希薄さ・平穏・忘却・憧れ  
などをキーワードにして、写真や記憶をもと  
に油彩を制作しています。  
ブログ: [http://blog.livedoor.jp/sudo\\_kei/](http://blog.livedoor.jp/sudo_kei/)  
作品集: <http://sudokei.tumblr.com/>

## |関連イベント

■トークイベント & オープニングパーティ  
「アートとどう関わるか? 実践的芸術関係論」  
日時: 11月26日(土)19:00~21:00

ゲスト: 藤田千彩、土屋誠一(司会: 介川貴晶)  
参加費: 500円

作品と対峙した時、その体験をどう評価し伝達していくか、それぞれの  
立場のバージョンが今までの活動を振り返りながらアートとの関  
わり方について議論します。トーク終了後にオープニングパーティを  
行います。

■石川竜一 舞踏公演 & クロージングパーティ  
「石川竜一 舞踏」  
日時: 12月4日(日)19:00~21:00

出演: 石川竜一  
参加費: 500円

写真家でもあり舞踏家でもある石川竜一氏による舞踏公演です。  
講演終了後にクロージングパーティを行います。

## |ゲストプロフィール

### 藤田千彩 (アートライター)

1974年岡山県生まれ、東京在住。大学卒業後、某通信会社に就職し、社内報編集を  
手掛ける。5年半のOL生活後、フリーランスのアートライターとして独立。『美術手  
帖』など雑誌やウェブサイトにてアートの文章を書いていると同時に、N-mark 野田利  
也とアートウェブマガジン「PEELER」<http://www.peeler.jp> を2005年2月より立ち  
上げ、主宰・編集を行う。また「ギャラリー巡り」など、美術鑑賞を促す活動も積極的  
に行っている。2011年度愛知県立芸術大学非常勤講師。

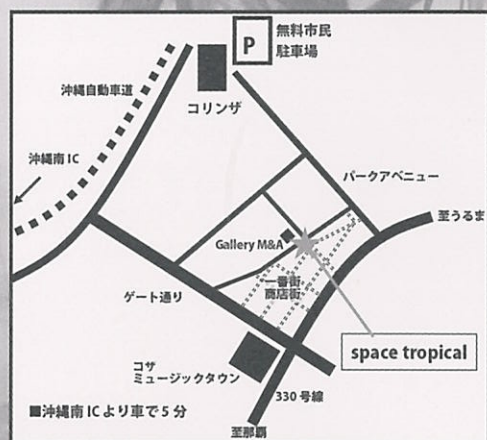
### 土屋誠一 (美術批評家・沖縄県立芸術大学講師)

1975年、神奈川県生まれ。多摩美術大学大学院修了。2009年より、沖縄県立芸術  
大学講師として着任。専門は近・現代美術史、写真論。2003年、「芸術評論募集」  
(美術出版社主催)での受賞をきっかけとして、美術批評家としての活動を開始  
する。執筆や関心の領域は、現代美術のほか、写真論、メディア論、サブカルチャ  
ーに至るまで多岐にわたる。論文に「平面・反復・差異アンディ・ウォーホルの二  
連画について」、「戦時体制下の写真批評濫口修造を読む」、「デジタル・イメ  
ージ論」など多数。企画した展覧会に「disPLACEMENT——『場所』の置換」(2005  
年、2007年)がなどある。

### 介川貴晶 (キュレーター)

1987年神奈川県生まれ。沖縄市在住。大学在学中、横浜や東京の様々な地域系  
アートプロジェクトに参加。その後、新たなアートシーンを求め2011年に沖  
縄へ移住。

## |マップ



会場: space tropical (沖縄市中央1-16-10 2F)  
Twitter: @space\_tropical

企画: 介川貴晶 協力: © office BULAT  
お問い合わせ: [skgwt6v@gmail.com](mailto:skgwt6v@gmail.com)